

## ほくりく「食」と「農」の消費者ネット意見交換会(福井県)の概要

日時：令和7年12月4日（木曜日）

場所：北陸農政局福井県拠点2階共用大会議室

令和7年12月4日、「第5次食育推進基本計画について」を本年度のテーマとして、福井県内の消費者団体5団体等から計8名の方々を招いて意見交換会を行いました。

最初に、各団体の方々から、幼・保こども園で食品ロス削減の出前学習会、家庭でできる地産地消の取組、親子農業体験、児童館や放課後児童クラブでの環境問題等啓発、災害支援、商品テスト（減塩食品）など、令和7年度に取り組まれた活動を中心に発表を行っていただきました。

その後、情報交換を行い交流を深めました。「食品ロス削減は、生産者と消費者の双方の思いが伝わらないと進まない、米の価格問題も同じだと思う」、「国の予算で生産者と消費者が交流する場を設定してほしい」など意見が出ました。米価高騰や米の生産調整についての意見もあり、北陸農政局から適宜回答しました。

続いて、消費・安全局消費者行政・食育課 課長補佐から、食育の推進に関する枠組み・体制や近年の食育の状況について説明したのち、第5次食育推進基本計画の検討状況について報告し、検討中の重点事項である ①学校等での食育の強化、②「大人の食育」の推進、③国民の食卓と農業の生産現場の距離を縮める取組の拡大 の3つの項目に沿って食育の取組事例を紹介しました。

出席された皆様から、多くの意見等をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

### ○学校給食について

- ・地場産物等の活用について、小規模の学校では可能だと思うが、給食センターでは必要な量を確保できず無理ではないかと思う。全国的に地場産物等の活用をどのように進めていくのか教えてほしい。

→（消費・安全局）学校によって給食センターや自校給食など様々であり、課題が違っていることは認識している。衛生管理、規格、時間的制約などが課題としてよく挙げられるところ。資料31ページの「スモールステップからはじめる学校給食での地場産物等活用のためのガイドブック」に掲載している先進事例等を参考に、できるところから取組を進めていただきたい。

- ・給食が無償になると質の低下や量の減少の懸念がある。

→（消費・安全局）給食の無償化については、三党合意に基づいて検討されており、論点としては地産地消を含む質の向上もあり、それらも配慮されて検討されていると考える。

## ○大人の食育について

・朝食の欠食や主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をしている人が少ないなど若い世代の食生活の乱れが気になる。説明していただいた企業の取組のほかに、若い世代の食生活を改善するための取組事例があれば教えてほしい。

→（消費・安全局）若い世代に向けては、どのようなアプローチができるか検討しているところ。食生活の乱れについては、官民連携食育推進プラットフォームの1つに「連携したプロジェクト活動」があり、大学生や一人暮らしを始めた社会人など特に食生活が乱れがちな方を対象に、大学等と連携した働き掛けを検討している。

・農林漁業体験に興味のある人は参加して体験後に良い意見をたくさんくれるが、全然興味のない人にはその良さが伝わらず、大人の食育まで持っていけない難しさを感じる。

→（消費・安全局）大人の食育や農業漁業体験に関心がない方、参加する方法がわからない方へのアプローチは、第5次食育推進基本計画の作成に向けた議論の中でも論点になっている。情報発信の精査や参加しやすい仕組みづくりなどを考えている。

## ○農業体験について

・資料に学校での農業体験の事例があるが、コロナ後、学校から農業体験の要望がなく再開できていない。取組が学校ごとに違うのではなく、例えば5年生になったらこういう農業体験をするというように国を挙げて進めてほしい。

・私が住んでいる地区では、毎年、地域の方の協力をいただいて、小学5年生が田植えと稲刈りを体験している。また、地域が荘園の跡地という歴史を子供に伝える目標もあり、収穫したお米は東大寺に届けるほか、学校のバザーで販売、一人暮らしのお年寄りに配るなど、地域と連携した取組となっている。

・教育現場でも保護者の意見は若い世代の意見に変わっている。稲アレルギーのお子さんも増えているし、子供の虫刺されに注意しなくてはならないなど、農業体験を実施するに当たって配慮しなくてはならないことが多く、実施するのが難しいこともあると思う。

## ○食育の日について

・食育の日を皆さん知らない。農水省が「今日は食育の日」ということをテレビなどでお知らせし、今日1日だけでも考えて食べてみませんか、といった啓発をすると、皆さんの意識が変わるのではないか。

→（消費・安全局）現在、毎月19日を「食育の日」として掲げているが、この取組の活性化も第5次食育推進基本計画作成の論点になっている。

## 意見交換会出席者

【消費者団体】（5団体、6名）

福井県連合婦人会、J A福井県女性組織協議会、福井県消費生活研究会、  
福井県消費者グループ連絡協議会、（公社）福井県栄養士会

【福井県】

農林水産部流通販売課

**【講師】**

農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課

**【北陸農政局】**

北陸農政局次長

北陸農政局地方参事官（福井県担当）

北陸農政局消費・安全部長

北陸農政局消費・安全部消費生活課長   ほか